

平成二十四年度 京都府公立高等学校入学者選抜学力検査

# 検査 1

## 国語

### 解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 解答は、それぞれの問題に示してある【**答の番号**】と、答案用紙の【**答の番号**】とが一致するように注意して、答案用紙に答えを記入しなさい。
- 5 答えとして記号を選ぶものは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 6 答えとして記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 7 答案用紙の採点欄には記入してはいけません。
- 8 答えの書き方について、次の例を見て間違いのないようにしなさい。

### 解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**答の番号**【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 次の説明のうち、正しいものはどれか、(ア)～(エ)から一つ選べ。……………**答の番号**【2】

- (ア) 北と反対の方向は西である。
  - (イ) 南と反対の方向は東である。
  - (ウ) 東と反対の方向は西である。
  - (エ) 西と反対の方向は南である。
- (2) 次の数のうち、奇数はどれか、(ア)～(オ)から三つ選べ。……………**答の番号**【3】

- (ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3
- (エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号	答の番号	答の欄	採点欄
(2)	(1)		【1】	【1】	水曜日	【1】
【3】	【2】					
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	アイウエ					

検査	
1	
受付番号	
1 2 3 4 5 6	
得点	

「字数制限がある場合は、句読点も一字に数える。」

「次の文章は、「徒然草」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)〜(5)に答えよ。(12点)

若き程は、諸事につけて、身を立て、大きな道をも成じ、能をもつき、学問をもせんと、行末久しくあらます事ども心にはかけながら、世を長閑に思ひてうち怠りつつ、先づ、さしあたりたる目の前の事にのみまぎれて月日を送れば、ことごと成す事なくして、身は老いぬ。終に物の上手にもならず、思ひしやうに身をも持たず、悔ゆれども取り返さるる齡ならねば、走りて坂を下る輪のごとくに衰へゆく。

〔新編日本古典文学全集〕による

注

- ① 道＝事業 ② 能をもつき＝芸能も身につけ
③ 行末久しくあらます事ども＝将来に渡りて希望を持ち計画するいろいろなこと
④ ことごと＝どれもこれも ⑤ されば＝だから
⑥ むねとあらまほしからん事＝主として望ましいようなこと ⑦ 営みて＝励んで

(1) 本文中の「思ひて・やうに」は歴史的仮名遣いで書かれている。これらの平仮名の部分をすべて現代仮名遣いに直して、それぞれ平仮名で書け。

【1】 答の番号

(2) 本文中の「悔ゆれども」は「後悔するけれども」という意味であるが、ここではどのようなことに対して後悔すると述べているのか、最も適当なものを、次の

(ア) (エ) から一つ選べ。

(ア) いろいろなことに取り組み、いくつかは身についたが、一番取り組みたいと思っていることに手をつけられないまま時が過ぎてしまうこと。

(イ) いろいろなことに取り組もうとせず、将来のことをまったく気にもかけていないので、何も身につかないまま時が過ぎてしまうこと。

(ウ) いろいろなことに取り組もうと努力するが、時間が足りず、結局は最初に

(エ) いろいろなことに取り組もうとするが、油断をして、目先のことに気をと

られていたので、何も身につかないまま時が過ぎてしまうこと。

(3) 本文中の「走りて坂を下る輪のごとくに」は、どのような様子をたとえた表現か、最も適当なものを、次の(ア)〜(エ) から一つ選べ。 【3】

- (ア) どんどん物事が進行していく様子
(イ) あれこれと迷って何も決められない様子
(ウ) 何とか同じ状態を維持している様子
(エ) 何度も同じことを繰り返してしまう様子

(4) 本文中の「何方をも捨てじと心に執り持ちては」の解釈として最も適当なものを、次の(ア)〜(エ) から一つ選べ。 【4】

- (ア) どこに捨てようかと迷っているようでは
(イ) どれも捨てないでおこうとこだわっている
(ウ) どれも捨てようかと悩んでいるようでは
(エ) どこにも捨てられないとあきらめているようでは

(5) 次の会話は、本文の内容をもとに行われた太郎さんと花子さんの話し合いの一部である。これを読み、後の問い(一)・(二)に答えよ。

太郎さん ぼくはいろいろ挑戦してみたいことがあるんだ。筆者は、いくつかのことの中から「A」を決めるべきだと言っているけれど、それは簡単なことではないと思うな。
花子さん そうね。でも、筆者は、よくくらべてみて、それから決めるべきだと言っているよね。
太郎さん 確かにそう言ってるね。きっと筆者も簡単に決めることができるとは思っていないんだろうね。
花子さん うん。筆者は、最終的に何も身につかなかったということがないように、「A」について B ことで、確実に自分のものにするこの大切さを言いたいのだと思うよ。

(一) A に入る最も適当な表現を、本文中から四字で抜き出して書け。 【5】

(二) B に入る最も適当なものを、次の(ア)〜(エ) から一つ選べ。 【6】

- (ア) お互いに競い合う (イ) さらに視野を広げる
(ウ) 貴重な経験を積む (エ) 集中して取り組む

【裏へつづく】

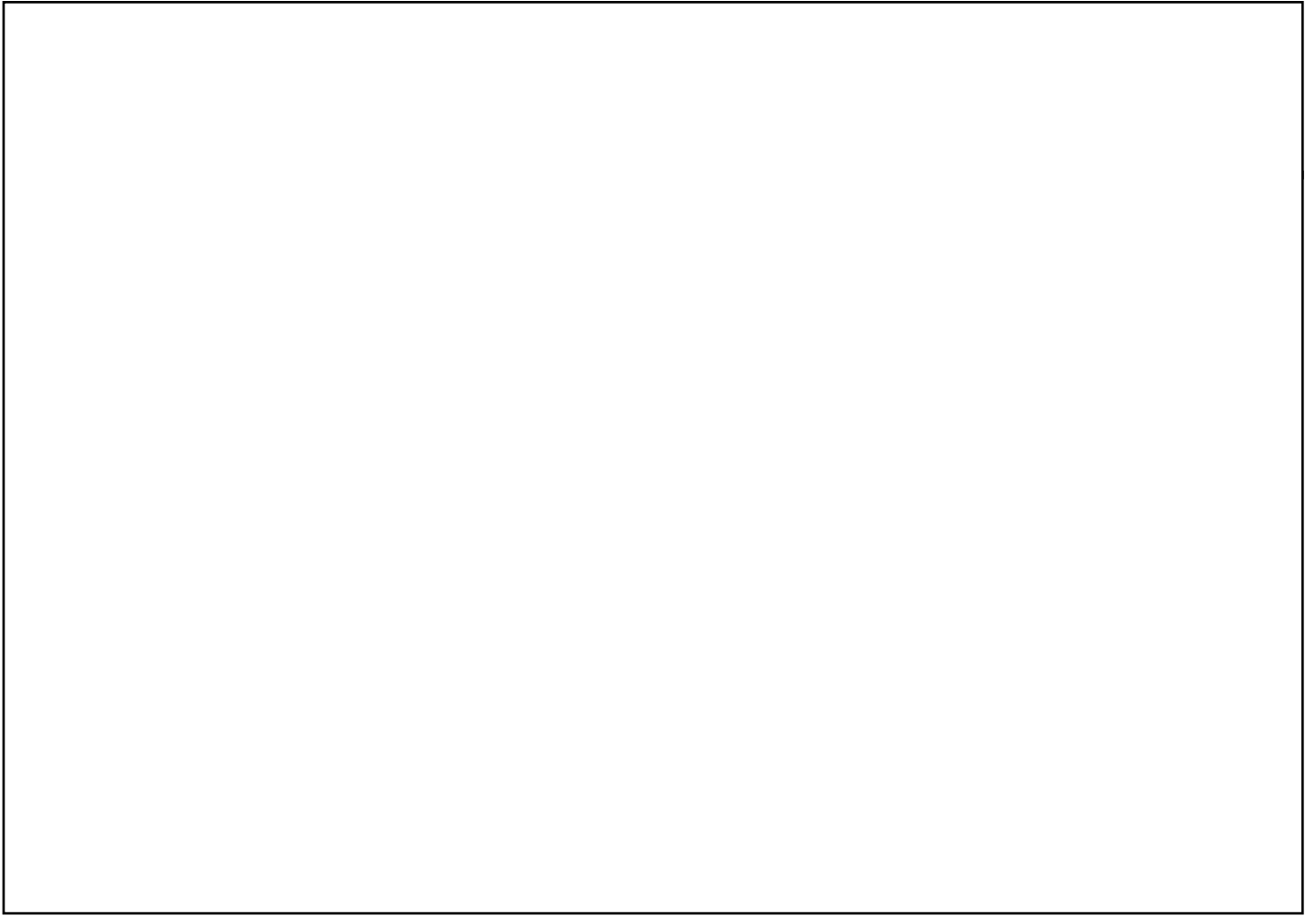
二

次の文章を読み、問い(1)～(13)に答えよ。(28点)  
①～⑩は、各段落の番号を示したものである。

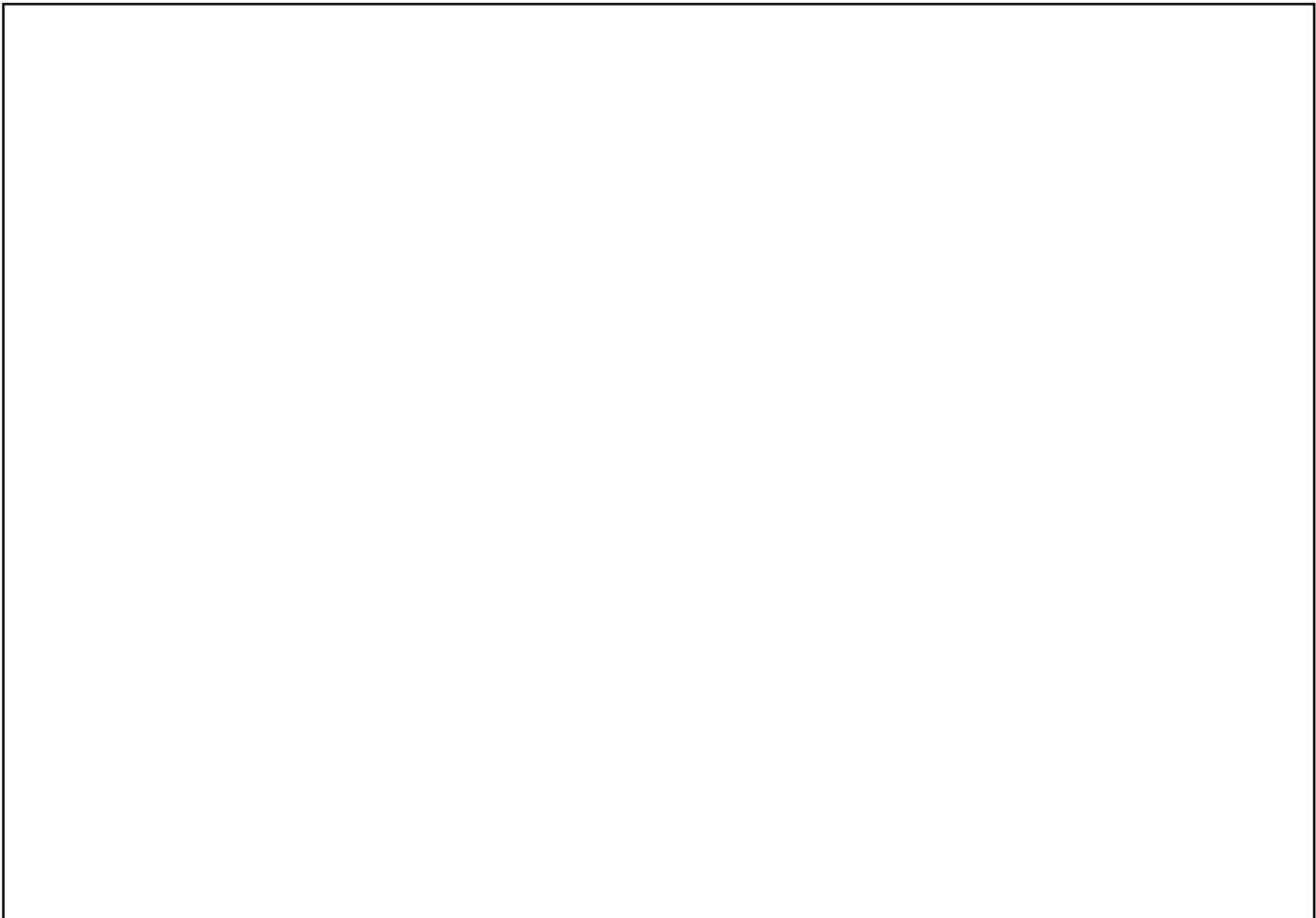
著作権許諾申請中

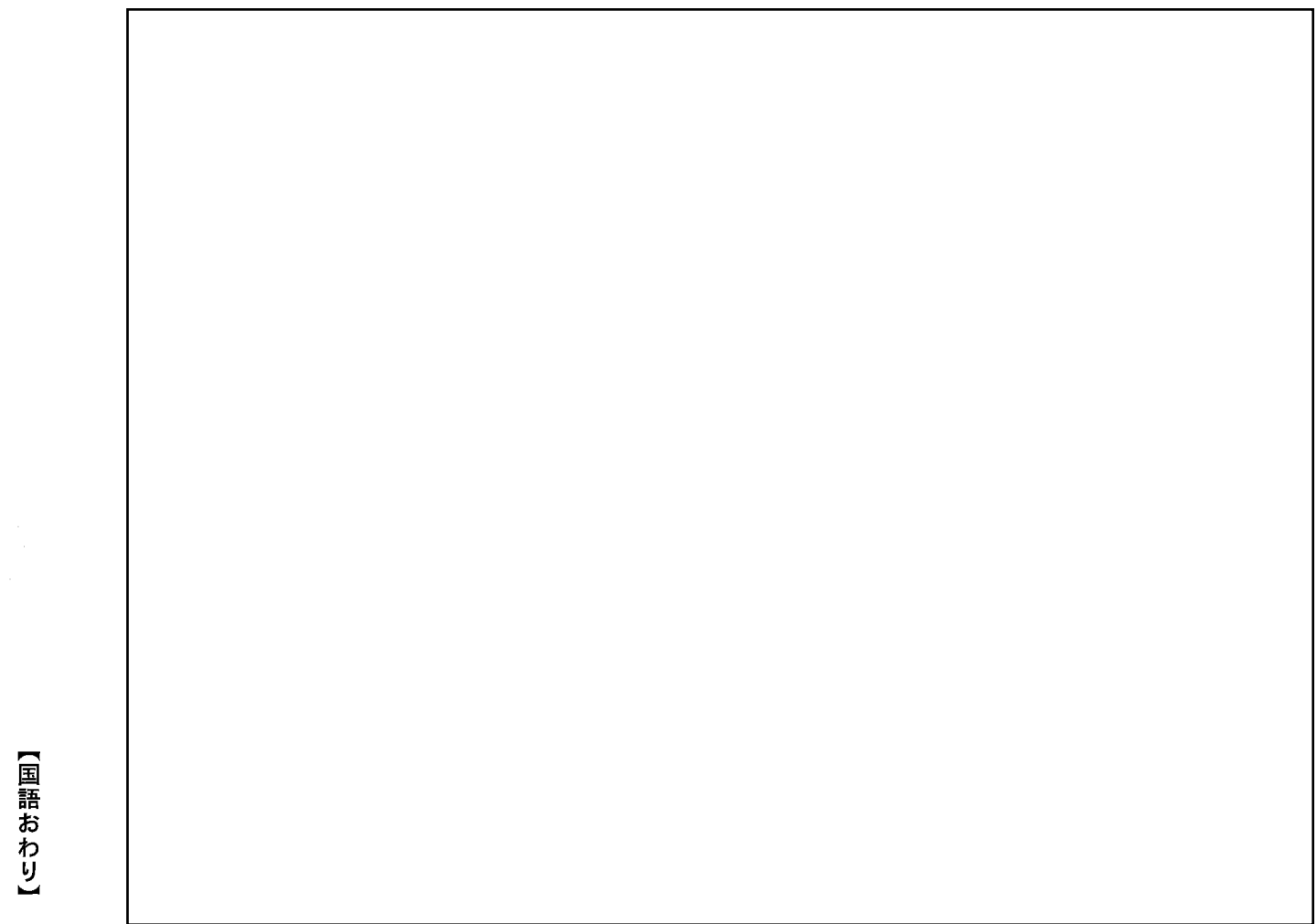
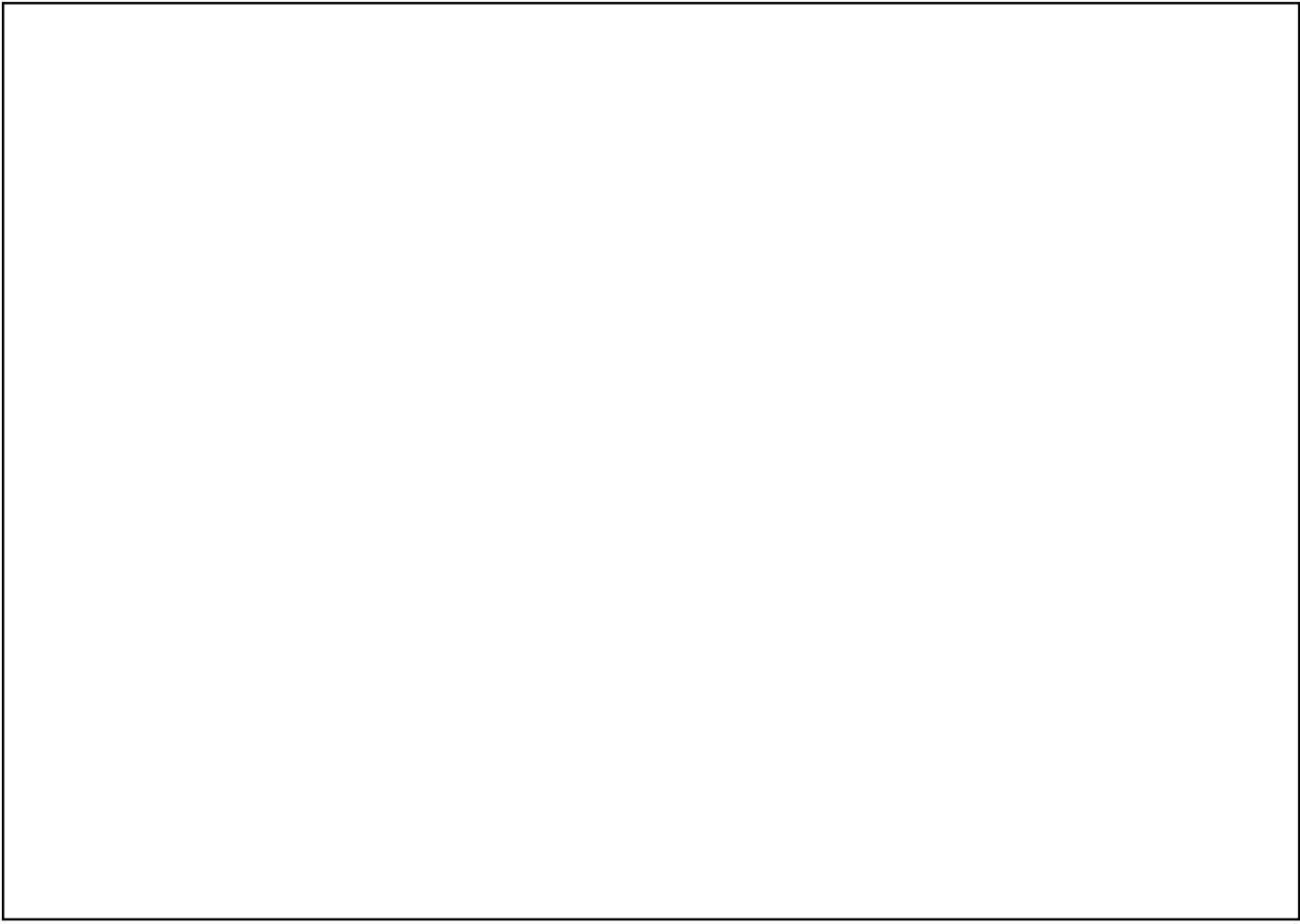
【あいうえお】

著作権許諾申請中



【へっく>編】





【ごとの範囲】

# 検査1 国語答案用紙

二														一					問題番号	
(13)		(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)	(2)		(1)
⊖	⊕													⊖	⊕					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	答の番号
ア	X	ア	ア	ア		ア	ア	ア	ア	I ア イ ウ エ		ア	ア	ア		ア	ア	ア	a 思	
イ		イ	イ	イ		イ	イ	イ	イ	ウ エ		イ	イ	イ		イ	イ	イ	b	
ウ	Y	エ	ウ	ウ		ウ	ウ	ウ	ウ	II カ キ ク ケ		ウ	ウ	ウ		ウ	ウ	ウ		
エ	S	オ カ	エ	エ		エ	エ	エ	エ			エ	エ	エ		エ	エ	エ		
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採点欄

検 査	
1	
受 付 番 号	
得 点	

# 検査1 国語 正答表

二													一					問題番号		
(13)		(12)	(11)	(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(5)		(4)	(3)		(2)	(1)
㊦	㊧													㊦	㊧					
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号
	×			ア				ア		I イ							ア			a 思 い て
ウ	音	ウ			か い が		イ			II カ	芽		イ			イ				b よ う に
	Y 大 自 ら 点 景	カ	ウ			ウ			工			工		工						
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄
2	(各1)2	(各1)2	2	2	2	2	2	2	2	(各1)2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各1)2	配点